

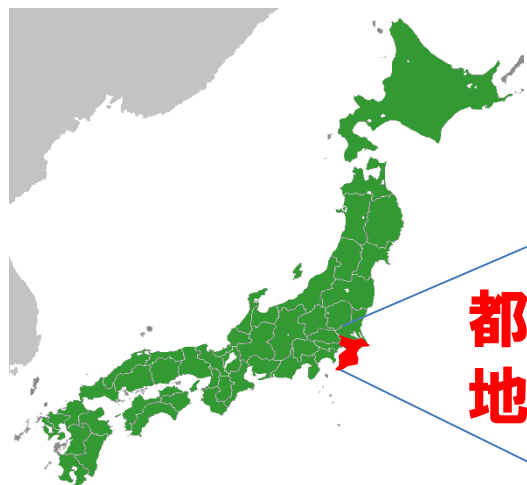
鋸南町都市交流施設 道の駅・保田小学校





Kyonan town
きよなんまち

鋸南町・保田小学校の位置



都内まで車で1時間半
地理的な優位性



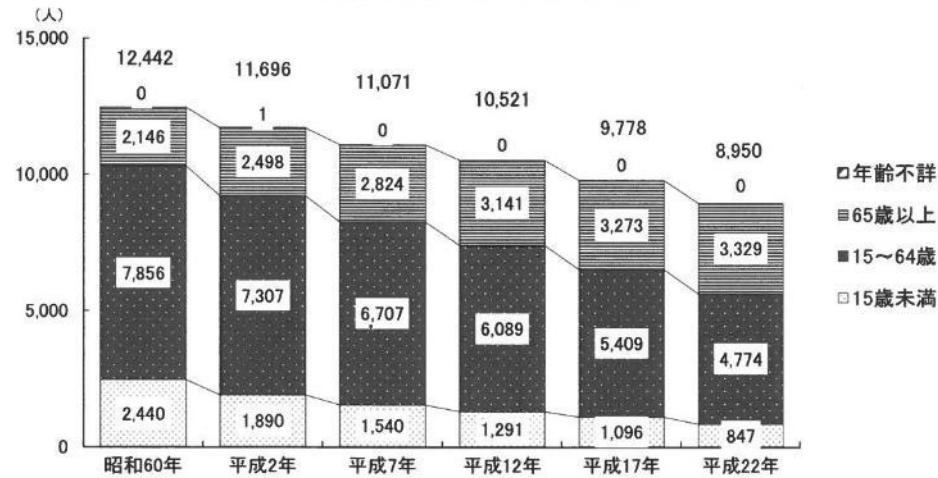
富津館山道路
鋸南保田ICを降りてすぐ
県道34号線に隣接
国道127号線から近い
JR内房線保田駅から近い
東西南北
交通の要所に立地

人口・出生数

鋸南町の人口

平成初期
約12,000人
⇒
平成27年
約8,000人

人口（年齢3区分人口）の推移



平成27年
高齢化率
約43%

資料：国勢調査

出生・死亡の推移



鋸南町の子どもの生まれる数

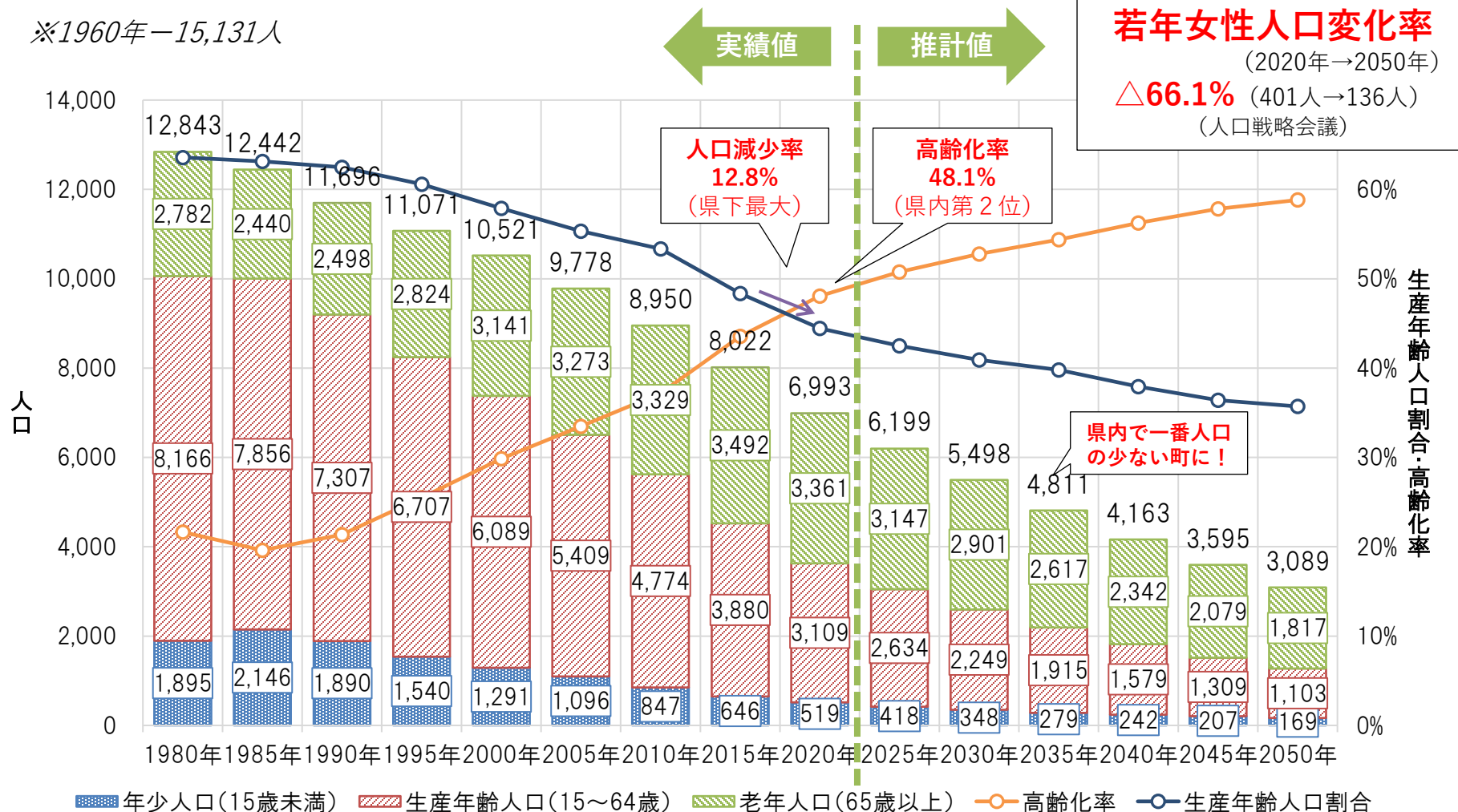
平成初期 約80人
⇒
平成27年 27人

資料：人口動態調査（厚生労働省）

人口の推移

過疎地域指定：平成12年4月1日

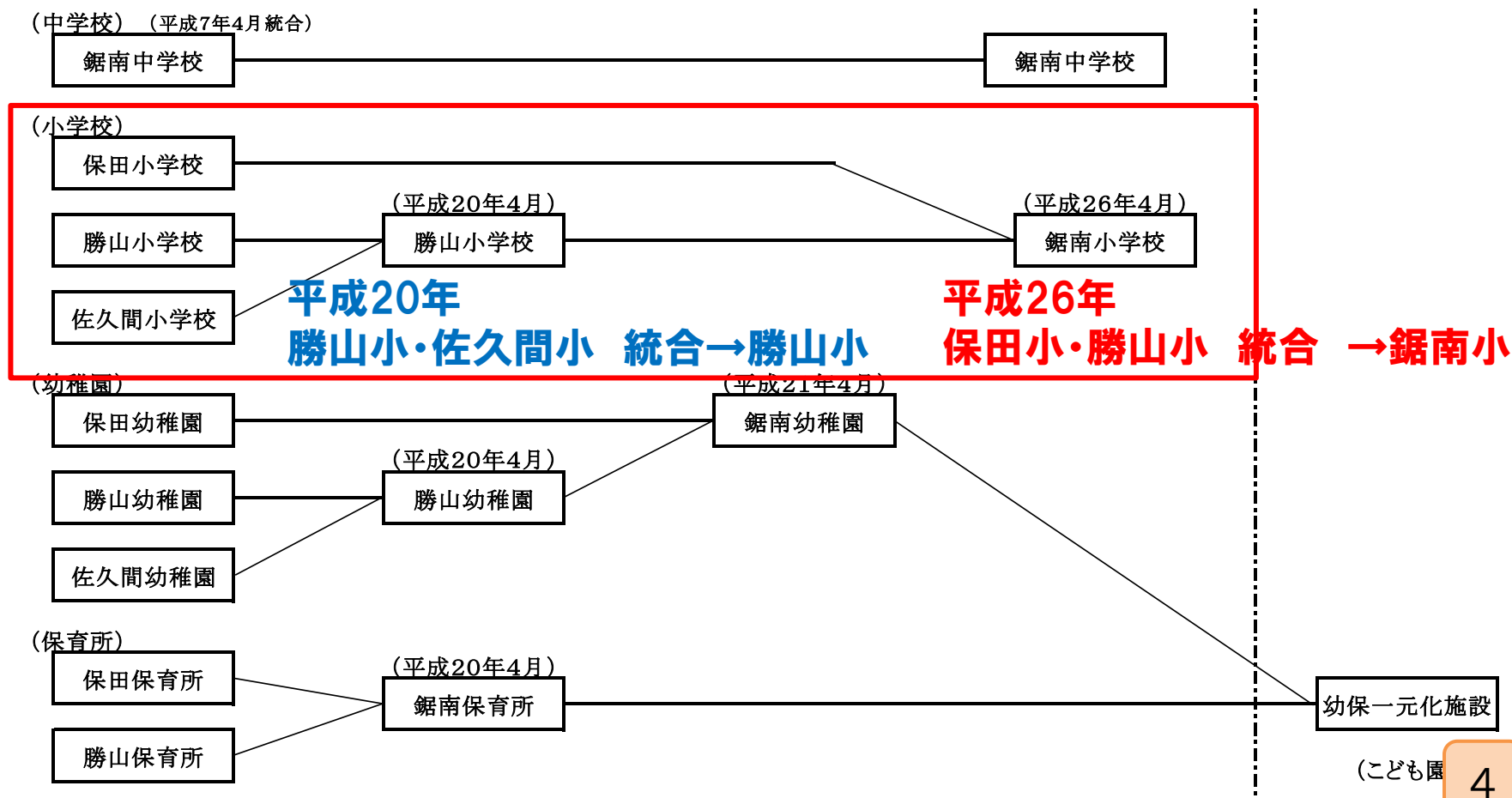
※1960年－15,131人



(資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

平成の大合併 → 自律(立)を選択 → 早期に準備していた教育施設の再編計画

◆ 教育施設等の再編計画



まとめ：プロジェクトの始動の背景

【高齢化率45%台、後期高齢者20%以上、
日本の中でも10年以上先を行った高齢化最先端の町】

【深刻な後継者不足】 【相次いだ小学校閉校と地域活力の減退】

このまま何もしなければ、町全体の元気がなくなってしまう……

- ・地域を元気にする事業をつくる。
- ・町に人と仕事を呼び込む。町民のステージ。
- ・廃校を活用し、新たな人々は交流する場所をつくる。

経済活性化の起爆剤となる事業を創造し、町に人と仕事を呼び込む
廃校を活用し、新たなコミュニティの核をつくる

「都市交流施設・道の駅 保田小学校」
プロジェクト始動！

住民からのアイデアがきっかけ

1 策定懇話会からの提案

本総合計画の策定にあたり、将来のまちづくりに関して自由闊達に意見交換を行い、町長に提案するために住民組織として、策定懇話会を設置しました。以下に、その提案内容を掲載します。

提案にあたって

私たち鋸南町総合計画策定懇話会は、町の新しい総合計画の交換を行い、提案書を作成することを目的とし、白石町長から囃を受け、平成22年5月26日に発足しました。以来、鋸南町には、こんなことをすれば、こんな施設や制度ができれば、なる懇話会を開催し、自由に意見交換しました。会議は平日の夕暇を借しむボランティア活動でした。

時間の制約がありましたが、委員一人ひとりが鋸南町の10真剣に討議を重ねました。現行の総合計画の推進状況、住民の資料提供を町から受け、精力的に任務を遂行し、本報告書の様々な意見を項目ごとに集約し、提案をまとめました。

今後、この提案が新しい鋸南町総合計画に的確に位置づけられるべく検討されることを、委員全員で見守っていきたいと見



平成22年5月
町では10年に1度の“総合計画”を策定。
その時の住民の皆様のアイデアがきっかけ。

(2) 学校施設等の跡地の有効利用

各校（園）舎・校（園）庭・体育館・プールなど、遊休施設の適切な管理と有効活用に努めます。

主要事業

主要事業	概要
新交流拠点整備事業（再掲）	保田小学校跡地の新交流拠点整備。
旧佐久間小学校及び幼稚園活用事業	公募により、選定した事業者による施設の活用。



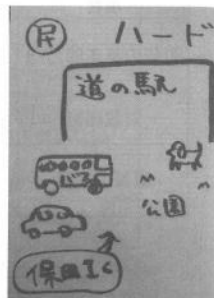
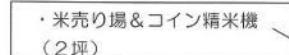
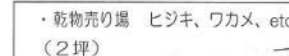
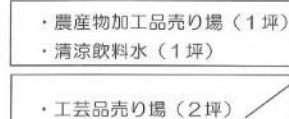
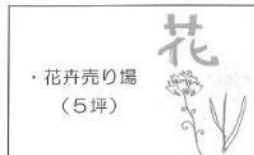
そのアイデアとは？

★鋸南町の農業を変える！新・道の駅計画

提案1 鋸南の農業を変える!! 新・道の駅計画

「鋸南の農業を変える!! 新・道の駅計画」を提案します。

《新・道の駅の機能の想定》



☆将来的に導入したい機能 (将来拡張用及びイベント用34坪)

- ・バーベキュー
- ・ギャラリー
- ・ばんや第2号館
- ・温泉
- ・エコファーマーマーケット (オーガニック市場)
- ・ドッグラン、公園
- ・海の学校。たてやま海辺の鑑定図の鋸南版
- ・お年寄りの知恵を若い人に伝える体験館 (例: 竹箸、竹かご、炭焼き)

鋸南町には、新鮮でおいしい海産物を提供する「ばんや」がありますが、観光客にとって魅力がある農産物の直売所がありません。また、以前は高速バス保田バス停がありましたが、現在は、高速バスは鋸南町を素通りしています。

行政やJA、住民が協働で新・道の駅 (物産センター) を整備・運営することで、鋸南町の農業は活気づき、食育などの取り組みも一層進むと考えられます。

新・道の駅の整備・運営に関する住民と行政の役割分担

	住民がすること	行政がすること
ハード整備の想定		・道の駅 (物産センター) の開設 ・保田インターそば ・既存の施設を利用して作る。 ・立地 (認知・幹線道) の良い所に。 ・大きめの駐車場完備。高速バスも利用できるようにする。 ・取付道路の許可及び折衝 ・POP、看板等の設置
組織運営の方法	・野菜、果樹育成、採集、荷作り、出荷、納品、陳列 ・後継者を増やす。農業技術を農家で教える。 ・人材の育成 ・直売所、道の駅、観光客に活用してもらう。 ・地元産品の販売、観光客に活用してもらう。	・行政で第3セクターを設ける。株主募集。物件の提供 (遊休資産の活用) ・販売条件の作製、売価、マージン、支払 ・新規関係者の開拓。生産者は生産を、売る ・他道の駅との差別化を図る。 ・売野菜は低農薬 or 有機栽培のみで基準を作る。 ・従業員採用及びトレーニング ・行政届出、保健所許可申請
交流促進・賑わい創出	・町に道の駅を創るよう要請するとともに、地元産品の販売、観光客に活用してもらう。 ・体験館 (教室) を作る。 (山の学校) ・地元産品の販売、観光客に活用してもらう。 ・地元産品の販売、観光客に活用してもらう。 ・地元産品の販売、観光客に活用してもらう。	・地元産品の販売、観光客に活用してもらう。 ・地元産品の販売、観光客に活用してもらう。 ・地元産品の販売、観光客に活用してもらう。 ・地元産品の販売、観光客に活用してもらう。 ・地元産品の販売、観光客に活用してもらう。

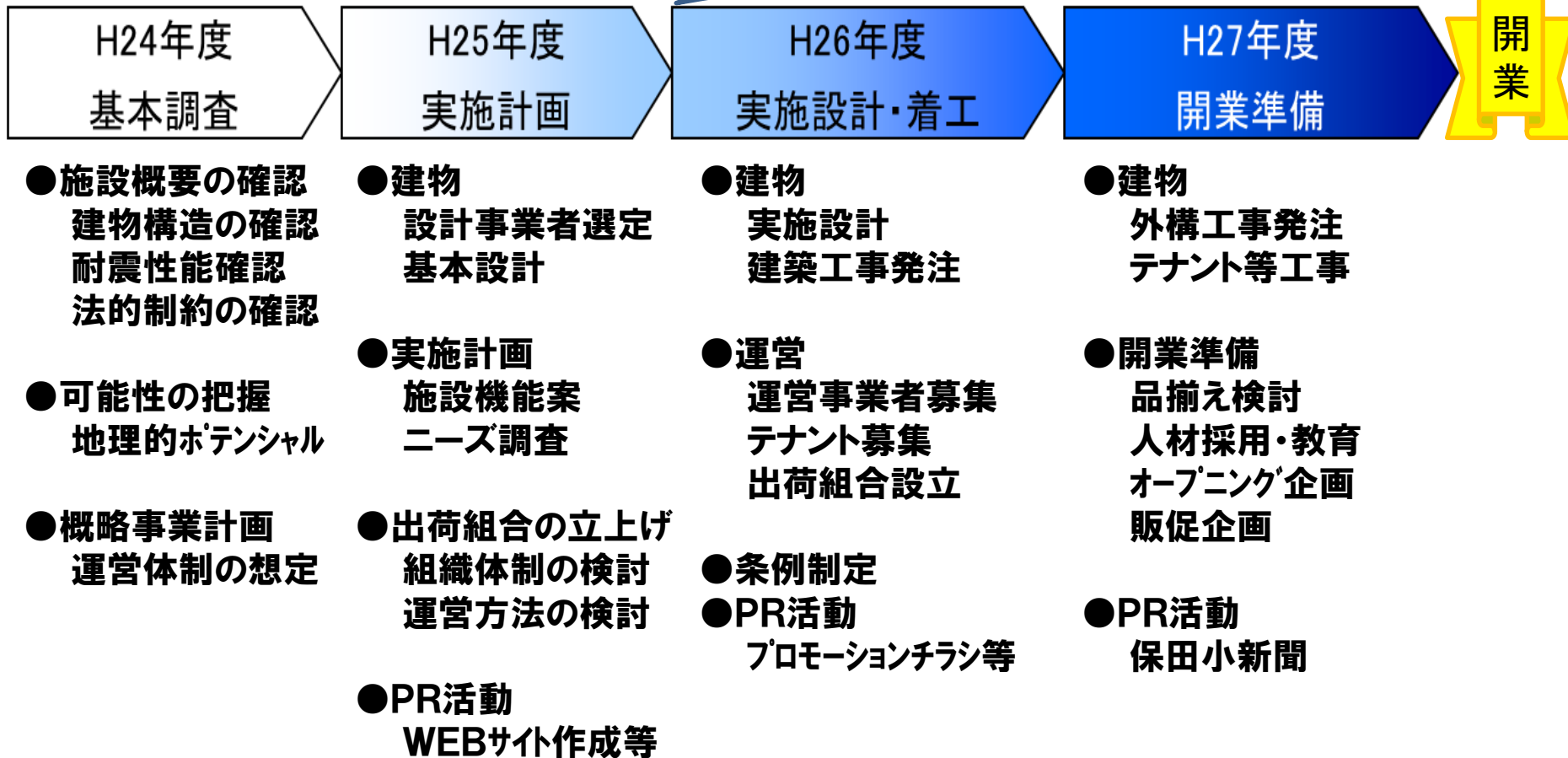
【そのときのアイデアの内容】

- ・野菜、花、売り場。
- ・農産物加工場。
- ・コーヒーショップ、お店。
- ・農業体験などできる場所。
- ・安心して子供たちが遊べる場所。
- ・地域の人々が働ける場所。
- など...わくわくする内容

事業の本格始動から開業までの主な流れ

事業始動から開業まで約4年間で開業 閉校から1年9か月で開業

H26年3月保田小閉校



主な財源：農林水産省の交付金による支援

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(農林水産省) ＝保田地区活性化計画＝

国費ベース

(項)農山漁村活性化対策費

(目)農山漁村活性化対策整備交付金

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金

※上段カッコは事業費
(千円)

	活性化計画名	都道府県名	計画期間	総事業費	H24年度迄 事業費	うちH23年度 事業費	H24迄 進捗率 (%)	H25年度 事業費	H26年度 事業費	H27年度以降 事業費	H25年度 主要工事(事業)内容
新規	保田地区活性化計画	千葉県	H24～H29	(796,238) 398,119	(—) —	(—) —	—	(36,788) 18,394	(521,800) 260,900	(237,650) 118,825	受入機能強化施設 実施設計 一式 農山漁村活性化施設整備付帯事業 都市交流施設の集客促進に向けたPR 活動 一式

事業の概要

○目的

農林水産従事者の高齢化及び後継者不足が進み地域活力が低下する中、地域コミュニティの核である保田小学校が、平成26年3月に廃校となることが決定した。これにより、住民の喪失感の発生、基幹産業である農林漁業の減退、地区人口の減少傾向の加速など、地域活力が減退することは明らかである。

そこで、保田小学校を新たな「コミュニティの核となる施設」として再生するとともに都市農山漁村交流の拠点としての活用を目指す。併せて、農林水産物の需要拡大を背景とする農林漁家の経営安定化を図り、離農や地区外流出を抑制することで地区の定住を促進する。

○計画の目標

1. 定住人口、6ポイントの増加
2. 交流人口、23%の増加

○概要

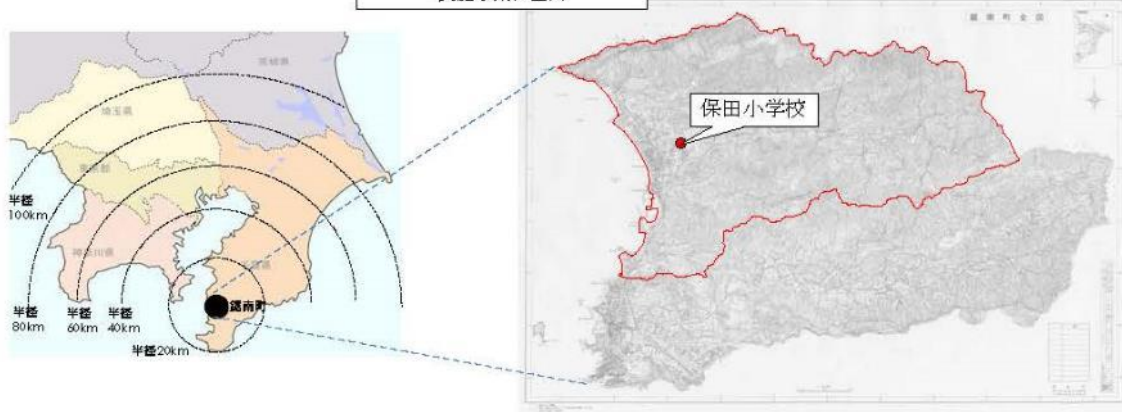
地区名 保田地区
計画主体 鋸南町
事業内容
・受入機能強化施設
・農山漁村活性化施設整備付帯事業

業

○平成25年度実施内容

- ・受入機能強化施設
(内訳)実施設計 一式
- ・農山漁村活性化施設整備付帯事業
(内訳)都市交流施設の集客促進に向けたPR活動

実施事業位置図



整備予定エリア

空間整備イメージ



平成25年1月

平成25～28年度の4ヶ年の継続事業

【小規模自治体での建築専門家との協働による設計プロポーザル実施】 町民に見える形で設計者の公開プロポーザルを実施



全国から37の応募 6者を2次選考で公開審査

日本建築学会でも著名な
建築家を審査員に迎え、
設計プロポーザルを実施





Kyonan town
きよなんまち

設計者の選定

鯉南町都市交流施設整備事業 設計業務組織体制

N.A.S.A 設計共同体

NASCA/代表者  古谷 誠章 [総務責任者] NASCA 代表 早稲田大学教授 □茅野市民館 (2005年) SRC+RC+S 地下1階/地上3階 延床面積10,806㎡ [劇場・図書館・美術館] □堀川小学校 (2009年) RC+S 地上2階 延床面積1,000㎡ [学校] □小梅町立図書館とまちづくりセンター (2009) S 平屋建て 908㎡ [図書館] □熊本市医師会館・看護専門学校 (2011) S 地上5階 7,800㎡ [事務所・専門学校] □実践学園自由山学院 (2011) RC 地下1階/地上3階 1,500㎡ [学校]		八木 佐千子 NASCA 代表 □ファード 図書館 なる
受賞歴 日本建築学会賞/日本芸術院賞/日本建築学会作品選奨/日本建築家協会賞/BCS賞/公共建築賞 日本建築家協会新人賞/AACA賞/古岡賞/日本図書館協会建築賞/熊本アートボリス推進賞/ グッドデザイン賞/Radiance Award/JCDデザイン賞/徳島県都市景観賞/まちづくり賞		
ADH  渡辺 真理 [主任技術者(構造)] 設計組織ADH1代表 法政大学教授  木下 庸子 設計組織ADH1代表 工学院大学教授 □校舎 自由 かつ		
受賞歴 日本建築学会賞/日本建築士会連合会優秀賞/日本建築家協会賞/日本建築家協会新人賞/BCS賞 古岡賞/商業施設デザイン賞/建築賞/中部建築賞/商業施設デザイン賞/賞/千鳥市優秀建築賞 新エネ大賞/経済産業大臣賞/環境賞/デザイン賞/建築賞/総合デザイン部門優秀賞 J1A 建築賞/建築賞/グッドデザイン賞		
Spatial Design Studio  藤原 聡子 空間研究所 代表 日本女子大学教授 □大阪府豊中津々々住宅 (1999) RC+SRC 地下1階/地上12階 28,007㎡ [共同住宅] □superar kinuta (2003) RC 地上7階 4,277㎡ [共同住宅] □東金市の南園山荘 (1993) 木造 平屋 685㎡ [幼稚園] □竹内医院 (2010) W+S 地上2階 491㎡ [診療所] □SHARE yamachi (2012) S 地上3階 184㎡ [複合住宅]		□原 建築 あそび
受賞歴 東京建築士会住宅建築賞/建築学会作品選奨/東京建築賞/建築賞/グッドデザイン賞 千鳥市建築文化賞/千鳥市建築文化賞/九州建築賞/建築賞		
architecture WORKSHOP  北山 恒 architecture WORKSHOP 代表 横浜国立大学大学院 Y-GSA教授 □浅足の連居住宅 (2006) RC 地上5階 2,635㎡ [集合住宅] □公立刈田総合病院 (2002) SRC+S-RC 地上4階 25,862㎡ [病院] ※共同設計 □白石市立白石第二小学校 (1996) RC+S 地上2階 8,822㎡ [小学校] ※共同設計 □花の温泉館 (1993) RC+S 地下1階/地上1階 1,399㎡ [温泉施設] □東京海鮮市場 (1990) S 地上2階 1,802㎡ [飲食店]		□体育館 建築 なる
受賞歴 日本建築学会賞/日本建築家協会賞/日本建築学会作品選奨/日本建築学会教育賞/BCS賞 ARCASSA AWARD ROOF ARCHITECTURE IN ARCHITECTURAL DESIGN/グッドデザイン賞 公共建築賞/東北地区優秀賞/医療福祉建築賞/東京建築士会住宅建築賞/九州建築賞/建築賞		

ワークショップ/竣工後の運営サポート

早稲田大学古谷誠章研究室  □新潟県上越市月影小学校再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画	法政大学渡辺真理研究室  □新潟県上越市月影小学校再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画
工学院大学木下庸子研究室  □TOKYO DESIGNERS WEEK □TOKYO DESIGNERS WEEK □TOKYO DESIGNERS WEEK □TOKYO DESIGNERS WEEK □TOKYO DESIGNERS WEEK	日本女子大学藤原聡子研究室  □新潟県上越市月影小学校再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画
横浜国立大学大学院Y-GSA  □新潟県上越市月影小学校再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画	北山スタジオ □新潟県上越市月影小学校再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画 □新潟県新潟市地域再生計画

N.A.S.A.設計共同体 (4事務所・5大学連携)を選定



- 体育館を大きな市場に
- 教室を宿泊室に
- 周辺環境と調和
- 初期投資の節約、校舎を再利用
- 5つの大学の学生が参加

(早稲田大学・法政大学・工学院大学・日本女子大学・横浜国立大学)

オーク構造設計  新谷 眞人 [主任技術者(構造)] オーク構造設計代表 早稲田大学教授	設備計画  鈴木 久志 [主任技術者(電気)] 設備計画 顧問  渡辺 忍 [主任技術者(機械)] 設備計画 取締役	構算担当者 照明デザイン担当者 ランドスケープデザイン担当者 グラフィックデザイン担当者
---	---	--

N.A.S.A.設計共同体は統括責任者に古谷誠章をおき、意匠主任技術者として渡辺真理、協力者として木下庸子、藤原聡子、北山恒を配置する体制で業務に臨みます。それぞれの建築家の設計事務所に加え、5名が教鞭をなす大学の研究室も一体となった組織体制を組むことで、各建築家の力量だけでなく研究室が継続的に行ってきた都市のプロジェクトの経験をふまえた厚みのある設計と持続的なまちづくりのサポートを可能にします。



Kyonan town
きよなんまち

設計者からの提案



「道の駅」の登録

千葉県内での「道の駅」の登録は26番目

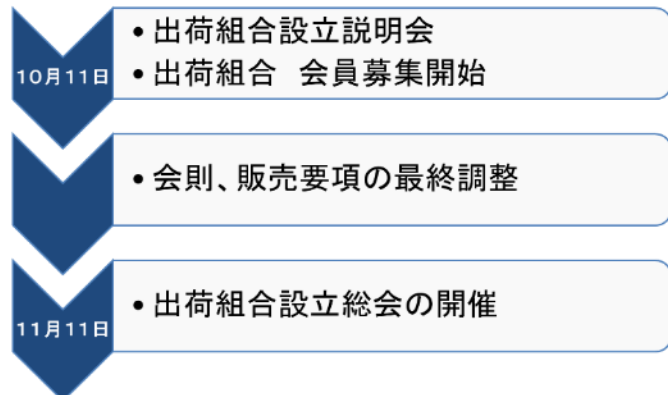
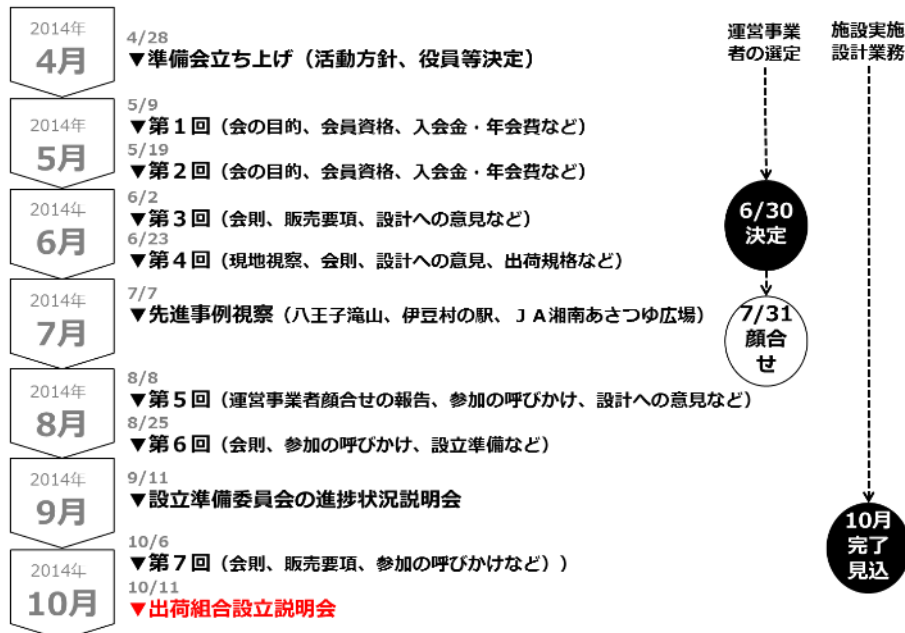


重点「道の駅」候補に選定

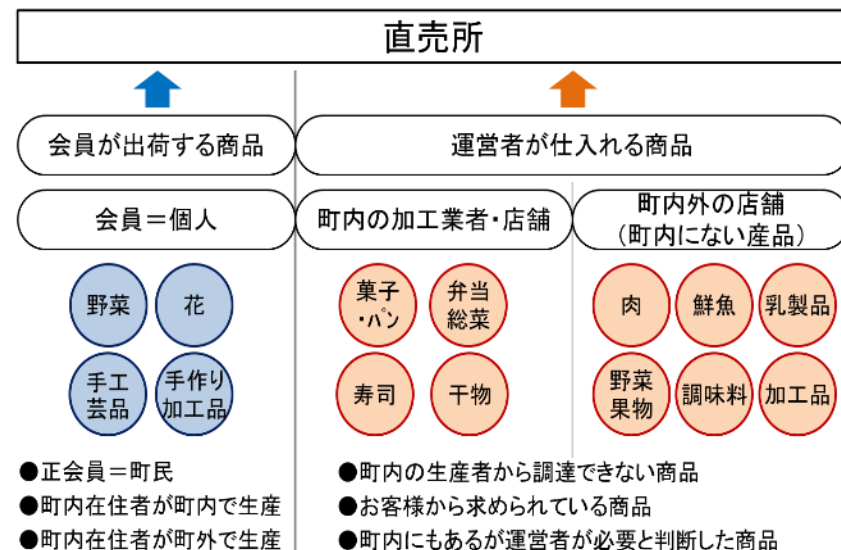


直売所出荷組合

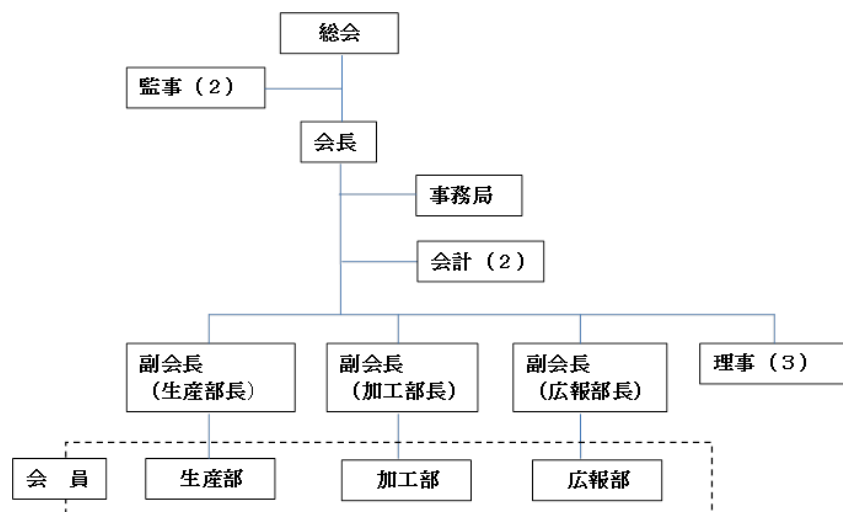
出荷組合設立準備委員会の検討経過



現在の会員数約200名、増加中。



出荷組合組織図





竣工式典



平成27年12月9日

鋸南町 都市交流施設・道の駅保田小学校

竣工式典



式典次第

1. 開式のことば
2. 施設設置者あいさつ
3. 施設運営者あいさつ
4. 来賓祝辞
5. 来賓紹介・祝電紹介
6. テープカット
7. 感謝状贈呈
8. 施設概要説明
9. 鋸南中学校吹奏楽部演奏
10. 鋸南小学校5年生児童合唱
「保田小学校校歌」「鋸南小学校校歌」
11. 校旗掲揚
12. 閉式のことば



グランドオープンは、
平成27年12月11日

安房郡鋸南町は、「都市交流施設・道の駅保田小学校」整備事業を推進しており、このほど新施設がグランドオープンした。南房総から廃校再生を新たな提案テーマとし、地方と都市の交流を育む拠点を誕生させたとしている。

事業経過・施設機能

◇主な事業経過

【平成22年度】

平成23年 3月 町総合計画に保田小学校跡地を活用した新交流拠点整備事業を掲載

【平成24年度】

平成24年 6月 庁内に都市交流施設整備事業検討委員会を設置、本格協議開始

8月 都市交流施設整備基本調査業務に着手

平成25年 3月 議会内に小学校跡地等利用検討特別委員会を設置

【平成25年度】

平成25年 5月 都市交流施設整備事業実施計画策定業務に着手

6月 施設及び地域の活性化計画が農山漁村活性化プロジェクト支援交付金（農林水産省補助）の交付対象計画に決定

6月 保田小学校屋内運動場（体育館）耐震診断調査業務に着手

6月 地域資源情報データベース化及びシステム構築事業に着手

10月 設計業務の公募型プロポーザルを開始（応募提案37件）

12月 設計事業者にN.A.S.A.設計共同体を選定、業務委託契約を締結

平成26年 3月 統合により保田小学校閉校、126年の歴史を閉じる

【平成26年度】

平成26年 4月 都市農村・共生対流総合対策交付金（農林水産省補助）を活用して交流拠点活用などを目的とした『ようこそ鋸南』プロジェクト発足

6月 運営事業候補者（指定管理候補者）及びテナント事業候補者を選定

11月 道の駅保田小学校直売所出荷組合設立

平成27年 1月 重点道の駅候補として選定

1～2月 増改築工事を東海建設㈱鋸南支店が落札、工事請負契約を締結、議会にて請負契約締結の議決を得る

2月 増改築工事安全祈願祭を挙行

3月 議会の議決を経て、施設の指定管理者に㈱共立メンテナンスを指定

3月 出荷用駐車場に利用するため隣接土地を取得

【平成27年度】

平成27年 4月 「道の駅保田小学校」を道の駅登録、県内で26番目

6月 屋外整備工事を東海建設㈱鋸南支店が落札、工事請負契約を締結、議会にて請負契約締結の議決を得る

6月 実践型地域雇用創造事業（厚生労働省委託事業）により地域の雇用構造を改善するため鋸南町雇用創造協議会が発足

9月 指定管理者㈱共立メンテナンスと都市交流施設の管理・運営に関する協定を締結

12月 都市交流施設増改築工事及び屋外整備工事の完成

竣工式典及びオープニングイベントの開催

◇主な機能

施設名	面積・設備・機能等
【校舎棟1階】	
まちのコンシェルジュ (まちの情報ラウンジ)	◇面積：82.32㎡ ◇設備：大型モニター、タブレット2台、町内ジオラママップ ◇機能：コンシェルジュによる観光情報などの案内 大型モニター、タブレット、ジオラママップによる情報提供 宿泊、温浴、公共施設の受付、フロント、町内体験メニュー等の紹介など
こどもひろば	◇面積：59.05㎡ ◇設備：ジャングルジム1台/ボールプール1カ所/各種遊具/授乳エリア ◇機能：親子で楽しめる空間、子育て支援など
まちのギャラリー (会議室①)	◇面積：79.51㎡ ◇設備：ピクチャーレール、スポットライトなど ◇機能：作品の展示、各種会議室として利用
テナント店舗	◇飲食店舗：4店（中国料理、イタリア料理、カフェ、食堂） ◇物販店舗：1店（お土産等販売）
トイレほか (24時間対応)	◇トイレ：男性用（小9、大4）/女性用（9）/身障者用（1）おむつ対応 ◇おむつ替え・授乳室：1室（おむつ替え3台） ◇公衆電話：1台
【校舎棟2階】	
学びの宿 (簡易宿泊施設)	◇定員：個室（4名）×10室＝40名 大部屋（15名程度）×2室＝30名 計70名 ◇設備：テレビ、畳ベッド（個室のみ）
里の小湯 (温浴施設)	◇中風呂：26.77㎡、水栓4、シャワーブース1、8名程度入浴可 ◇小風呂：19.76㎡、水栓5、シャワーブース1、6名程度入浴可
まちの縁側	◇面積：322.21㎡ ◇設備：キッチン2カ所 ◇機能：日中はご自由に利用いただける広くて長い縁側、イベントなどに活用可
音楽室 (会議室②)	◇面積：85.68㎡ ◇設備：ピアノ、壁面ミラー ◇機能：音楽、ダンス、各種サークル活動などの練習、ミニコンサートに活用可（防音対策有）
【市場棟】	
里山市場きょうなん楽市 (直売所)	◇面積：売場面積511.95㎡/バックヤード162.81㎡ ◇設備：什器（平台、多段棚）、冷蔵・冷凍ショーケース、レジカウンターなど ◇機能：産直、物販、飲食スペース
【屋外・その他】	
イベント広場	◇面積：約360㎡ ◇設備：外部水栓 ◇機能：屋外のイベント利用
駐車場	◇自動車（4輪）：乗用車104台/大型車5台/身障者用2台/急速充電設備1台 ◇自動車（2輪）：8台 ◇自転車：21台
その他	◇太陽光発電設備：出力15KW相当、蓄電池15.6KWh相当 ◇公衆無線LAN：敷地内利用可能（H28.3導入予定）

保田小学校 Before & After











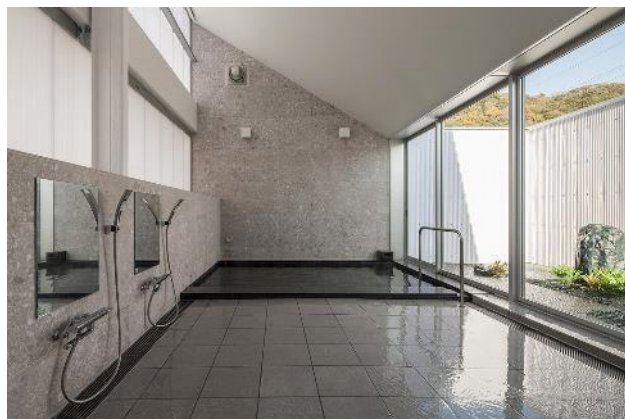
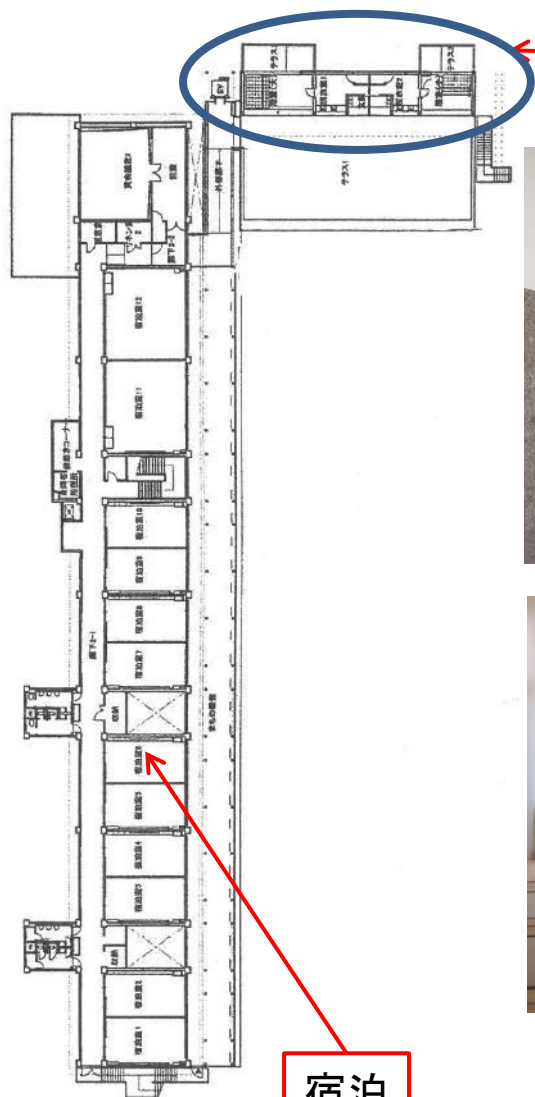
特徴的な施設の概要

校舎2階は、簡易宿泊施設と入浴施設、音楽室に

浴室

校舎2階は、宿泊、風呂

音楽室(会議室)に改修



校舎2階の教室

平時は宿泊室として利用

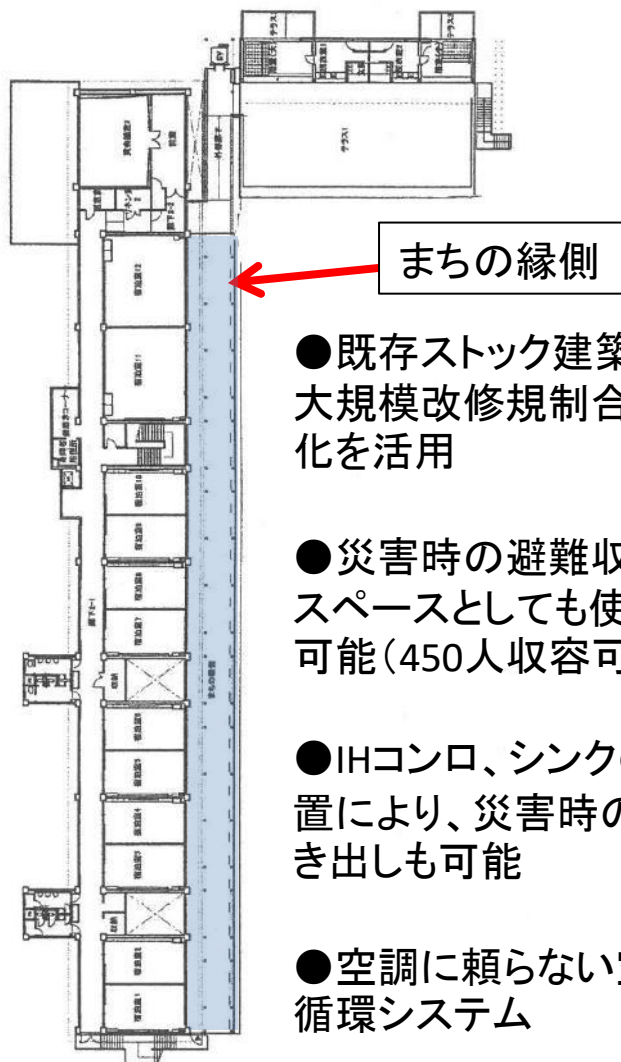
災害時は間仕切りのある避難所として活用できる

宿泊

特徴的な施設の概要:まちの縁側

校舎2階南側に、町民や交流客のたまり場となる「まちの縁側」を増築

**校舎2階前面に、
町民や観光客がゆったりする
「まちの縁側」を増築（東西約70m）**



●既存ストック建築の
大規模改修規制合理
化を活用

●災害時の避難收容
スペースとしても使用
可能(450人收容可能)

●IHコンロ、シンクの設
置により、災害時の炊
き出しも可能

●空調に頼らない空気
循環システム





Kyonan town
きよなんまち

まちの縁側





Kyonan town
きよなんまち

こども広場





Kyonan town
きよなんまち

みんなの家庭科室



加工室 と 調理実習室 の2区画あり

加工品の試作品づくりや
体験メニューが実施可能
に！



防災機能の強化



防災訓練も実施



整備費用

全体の整備費用：約13億円

国・県に支援いただき、各種交付金等を活用

町の一般財源：約3億円

◇施設の整備費用

●主な施設整備費の内訳

※平成28年度末実績

業務名	受注者名	金額
整備設計業務	N.A.S.A.設計共同体	45,360,000 円
増改築工事	東海建設(株)鋸南支店	845,640,000 円
屋外整備工事	東海建設(株)鋸南支店	121,942,800 円
増改築工事監理業務	N.A.S.A.設計共同体	28,080,000 円
太陽光発電システム設置工事	(有)富永電気	44,820,000 円
その他関連整備費及び事務費（ハード・ソフト）		211,098,540 円
計		1,296,941,340 円

●財源内訳

財 源	金額
（国庫補助 農林水産省）農山漁村活性化プロジェクト支援交付金	353,856,000 円
（国庫補助 経済産業省）地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金	7,200,000 円
（国庫補助 内閣府）次世代自動車充電インフラ整備促進事業費補助金	4,620,000 円
（千葉県補助）千葉県緊急雇用創出事業補助金	14,200,000 円
（千葉県補助）千葉県公共施設再生可能エネルギー等導入支援補助金	40,428,000 円
（千葉県補助）公衆無線LAN環境整備事業補助金	5,000,000 円
（千葉県補助）観光地魅力アップ整備事業補助金	208,000 円
（町債）過疎対策事業債	549,700,000 円
町一般財源	321,729,340 円
	1,296,941,340 円

過疎対策事業債の交付税措置分を除いた額に一般財源を加えた実質的な負担額は約4億9千万円



Kyonan town
きよなんまち

随所に残る学校の雰囲気



都市交流施設・道の駅保田小学校の実績推移

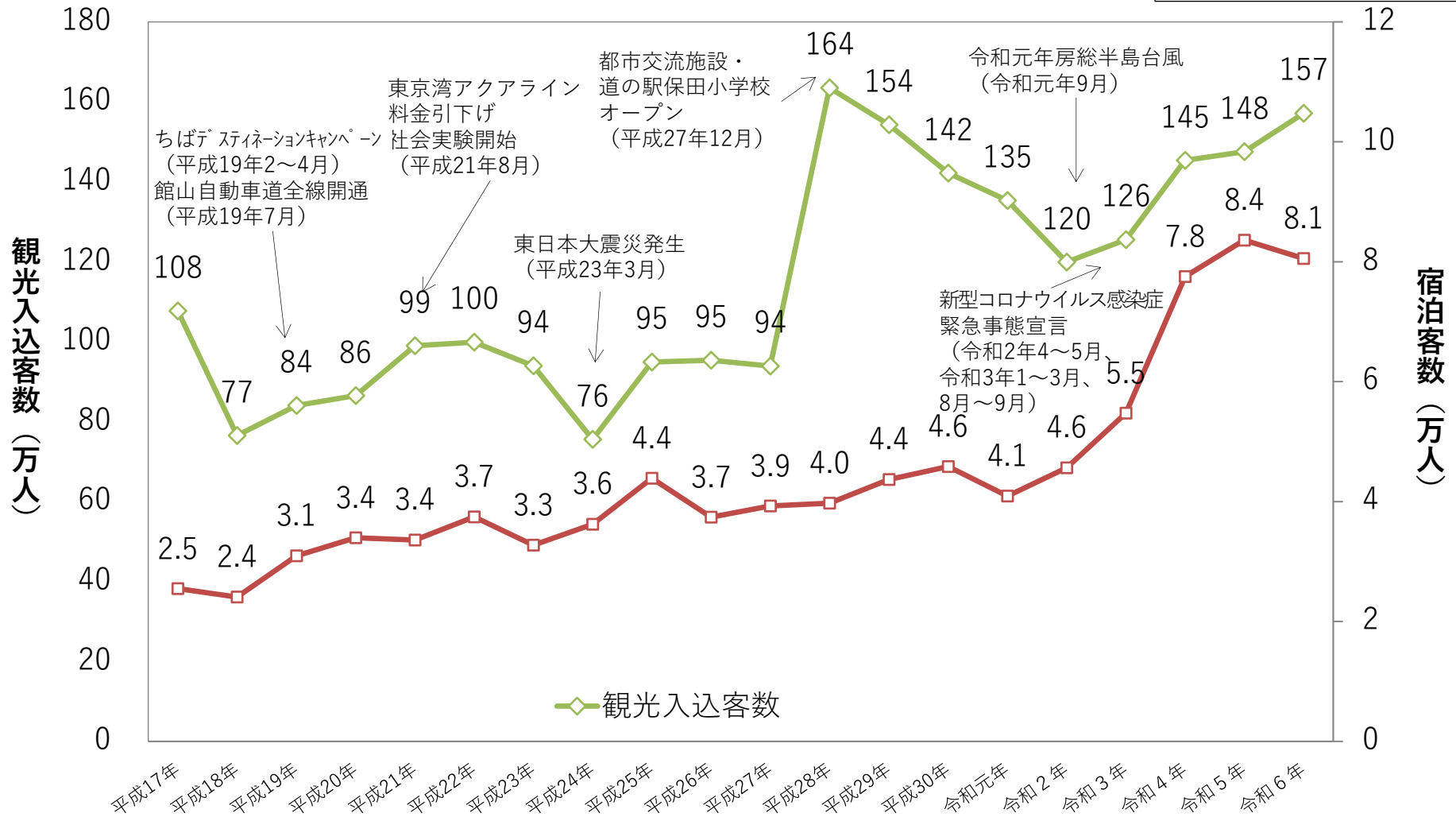
※令和5年度以降は幼稚園含む。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
売上(千円)(税込)	219,914	613,684	599,203	622,905	454,836	453,852	565,372	743,147	719,889	1,003,566	6,073,455
うち、直売所	153,087	439,132	431,896	450,784	304,011	324,044	391,037	524,110	499,884	556,000	4,073,985
レジ通過客数(人)	105,806	298,174	284,103	289,141	208,454	188,215	222,968	265,755	261,406	279,468	2,403,490
宿泊者数	693	5,053	6,255	6,294	5,788	2,457	3,667	5,800	6,503	6,468	48,978
入込客数 ※年(1～12月)		611,536	582,702	582,314	595,817	561,583	648,460	77,729	792,242	905,422	5,357,805
雇用者数(人) ※テナント含む	55	50	61	55	55	48	49	60	89	92	—
うち、町内者	28	27	29	28	28	23	23	28	47	47	—
出荷組合組合員数 (人)	158	181	191	218	221	223	222	221	212	204	—
取引業者数	49	62	69	78	78	81	91	94	98	103	—
うち、町内事業者数	14	20	21	23	18	22	20	20	21	23	—
指定管理料(千円)	23,200	11,100	6,200								40,500
当期利益(千円)※	15,316	10,152	12,351	22,505	-8,222	-10,263	6,283	28,774	-15,931	-4,604	56,361
分配金(千円)		2,030	2,470	4,501			1,256	5,755			16,012

※指定管理者との協定により、当期利益の10分の2を分配金として町に納付、10分の4を設備更新のための積み立て。

観光入込客数の推移

令和6年主な観光地点への入込客数（万人）	
・道の駅保田小学校	91
・ばんや	24
・日本寺	32
・水仙まつり	2
・桜まつり	3



都市交流施設の課題

- ①休日には、慢性的に**駐車場が不足**している。
- ②団体客の受入れが可能な**飲食スペースが不足**している。
- ③地元住民の利用が少なく、施設内のテナントなどの認知度が低い。
- ④町全体への波及効果が限定的となっている。
- ⑤隣接する旧鋸南幼稚園を**公園などに活用できないか**という意見あり。
- ⑥**高速バスの乗り入れ**にあたって、快適な利用環境が整備されていない。
- ⑦新しい働き方や暮らし方に対応した施設整備が求められている。
- ⑧「みんなの家庭科室」の活用を通じた特産品のブランド化、六次産業化の推進が求められている。

都市交流施設周辺整備事業

平成3年築
の木造園舎

旧鋸南幼稚園

学校給食センター

旧保田小学校
プール

既存の都市交流施設にない
新たな機能を加え、滞在時
間の拡大や回遊性の向上を
図り、関係人口を創出する
拠点に！

		現状	拡張	合計
敷地面積		14,235.50㎡	9,427.50㎡	23,663.00㎡
建築面積		2,660.14㎡	1,538.40㎡	4,198.54㎡
延床面積		3,486.73㎡	848.70㎡	4,335.43㎡
駐車場	普通車	106台	82台	188台
	大型車	5台	0台	5台
	合計	111台	82台	193台

施設概要



設計・監理
施 工

遠藤克彦建築研究所・アトリエコ設計共同体
東海建設株式会社鋸南支店

施設拡張のポイント

- 施設面積は、既存の保田小学校と合わせて23,000平方メートル、駐車場は200台が収容可能に。
- 敷地中央には、既存の保田小学校から雨でも濡れずにアクセスできる、円環状の屋根付き歩道「わっか」を設置。
- 屋外には駐車場のほか、キャンピングカーサイト、公園「みまもりひろば」、ドッグラン、バス待合所を整備。
- 旧幼稚園舎内は、飲食テナント(3店舗)、コワーキングスペース「まちのオフィス」、遊戯室を改修してカフェ「ぞうさんすむーじー」を併設した子どもの遊び場「プレイカフェ」に。
- 飲食店がさらに増えることで、この地域のおいしい食材を取り揃えた「食のテーマパーク」としても楽しめるように。
- 東京・新宿方面／千葉方面／羽田空港・横浜方面への高速バスが乗り入れ予定。

施設整備費

(1)施設整備費の内訳

内 容	金 額	備 考
都市交流施設周辺整備工事	700,468,621円	東海建設株式会社鋸南支店
設計業務委託	49,970,000円	遠藤克彦建築研究所・アトリエコ設計共同体
工事監理業務委託	25,133,960円	遠藤克彦建築研究所・アトリエコ設計共同体
土地購入費	98,960,000円	地権者7名、旧法定外公共物
物件補償費	35,709,525円	
その他	31,920,874円	
合 計	942,162,980円	

(2)財源内訳

内 容	金 額	備 考
地方債	888,300,000円	過疎対策事業債
その他	3,030,000円	
一般財源	50,832,980円	
合 計	942,162,980円	

過疎対策事業債の交付税措置分を除いた額に一般財源を加えた実質的な負担額は約3億2千万円

都市交流施設・道の駅保田小学校拡張施設



Before/After



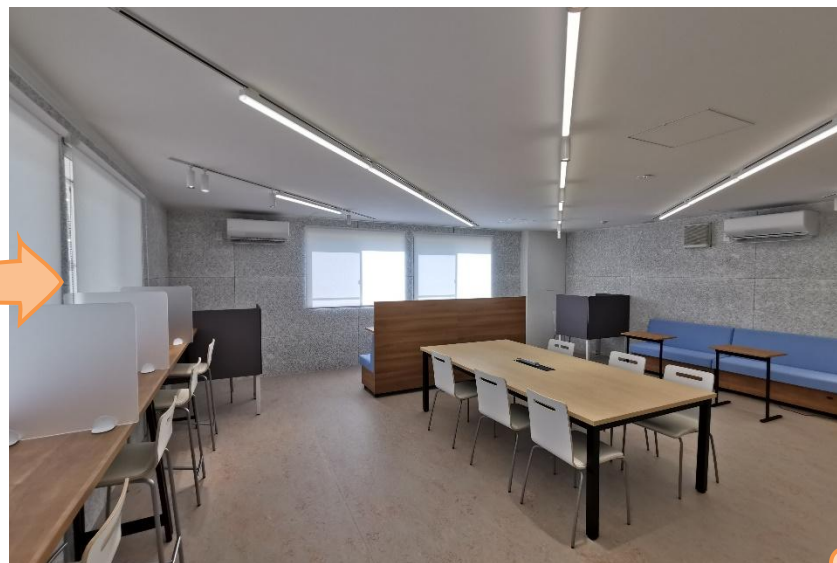
Before/After



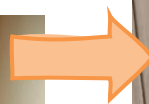
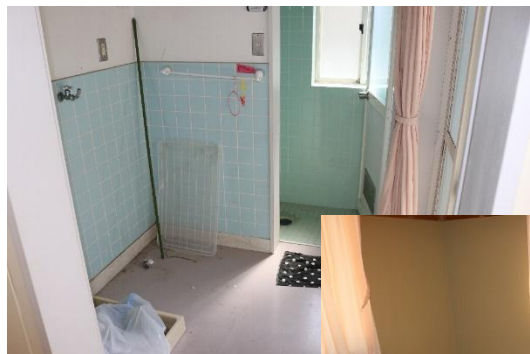
Before/After



Before/After



Before/After



Saturday, 10/14/2023

GRAND OPEN!





令和8年1月

みまもい広場に遊具登場！

